

情報科&図書館コラボ「POP を作ってイチオシ本を紹介しよう!」および図書館展示「POP 祭」

埼玉県 埼玉県立所沢西高等学校

基本データ

| | |
|----------------|----------------------|
| 所在地 | 埼玉県所沢市北野新町 2-5-11 |
| 児童生徒数 | 967人 |
| 教職員数 | 70人 |
| 蔵書数 | 約45,000冊 |
| 年間貸出冊数 | 16,618冊 |
| ※年間貸出冊数のうち、生徒が | 14,621冊、教職員が1,648冊、 |
| 他館が | 349冊 |

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導、授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- 本の POP の制作とプレゼンテーションに取り組ませることは、生徒の表現力・要約力を鍛える効果がある。
- クラスメイトの POP を見たりプレゼンを聞いたりすることで、本への興味が広がりかつ深まることを期待している。
- 授業終了後の展示によって、1年生以外の生徒・教職員にも POP が目に触れ、貸出が増えることを期待している。

取組・活動の概要

(1)「POP を作ってイチオシ本を紹介しよう!」

- 2012年度から毎年実施している情報科の授業である。
- 10月末から約1ヶ月間、1年生全クラス各6時間の授業を図書館で行っている。

【1時間目】

- 担当教諭は授業の目的・概要を説明。司書は書店 POP の写真を紹介し、POP の目的・POP に書く内容・よい POP を作るためのコツなどを解説。

【2～3時間目】

- 本選びおよび POP 制作。
- 担当教諭はキャッチコピーや著作権を説明。
- 司書は見本として前年度の力作 POP を掲示するほか、POP の参考書を紹介。

【4時間目】

- プレゼンテーションの原稿作成。
- 担当教諭によるプレゼンの説明。
- 司書は参考資料を紹介。

【5時間目】

- リハーサル。4人×10班で実施。

【6時間目】

- プレゼン本番。本と POP をプレゼン資料とし、

1～2分で本を紹介する。計4班(各10～11人)に分かれて発表。

- それぞれにビデオカメラを設置し撮影。
- 生徒は、班全員(本人も含め)のプレゼンと POP について、4つのチェック項目からなる「相互評価」シートに記入。
- 授業終了時に評価シート・プレゼン原稿・POP を提出。



プレゼン本番の様子

(2)「POP 祭」

- 「POP 祭」は、2学期末テスト最終日から終業式までの期間に行う展示である。
- スペースの都合で、最初は力作 POP 百数十点を本と一緒に展示し、貸出された本の POP は順次ホワイトボードに掲示する。
- 空いた展示スペースには新たな本と POP を日々補充していく。
- 最終的には、毎年6～7割の POP を展示もしくは掲示し、そのうち約2～3割の本が貸出される。

取組・活動の工夫や特徴

- 本の POP に書くものとしては、書名・著者名以外にも、対象とする読者へのアピールや内容紹介、感想など、複数の PR 項目がある。
- どの項目を選択し注目させるかによって同じ本の POP でも全く違うものができることから、自分独自の切り口で情報を伝えていくことの重要性を生徒に理解させるために、紹介する書店 POP の写真は毎年入れ替え、できるだけ確かな例を見せられるように努力している。
- プレゼンテーションの録画によって、生徒自身が自分のプレゼンの特徴や改善が必要な点を知ることができるようにしている。
- 展示終了後、出版社の主催する POP コンテストに応募するなど、生徒のモチベーションを高める工夫を行っている。

取組・活動の成果や今後の展望

- POP で紹介されなければ注目されなかったであろう本が貸出されることがしばしばある。
- 展示した POP 数、貸出された POP の数や割合は毎年記録し、次年度以降の参考にしている。



POP 祭の様子



POP 祭の様子

